

○近畿・中国・四国地方の地震活動

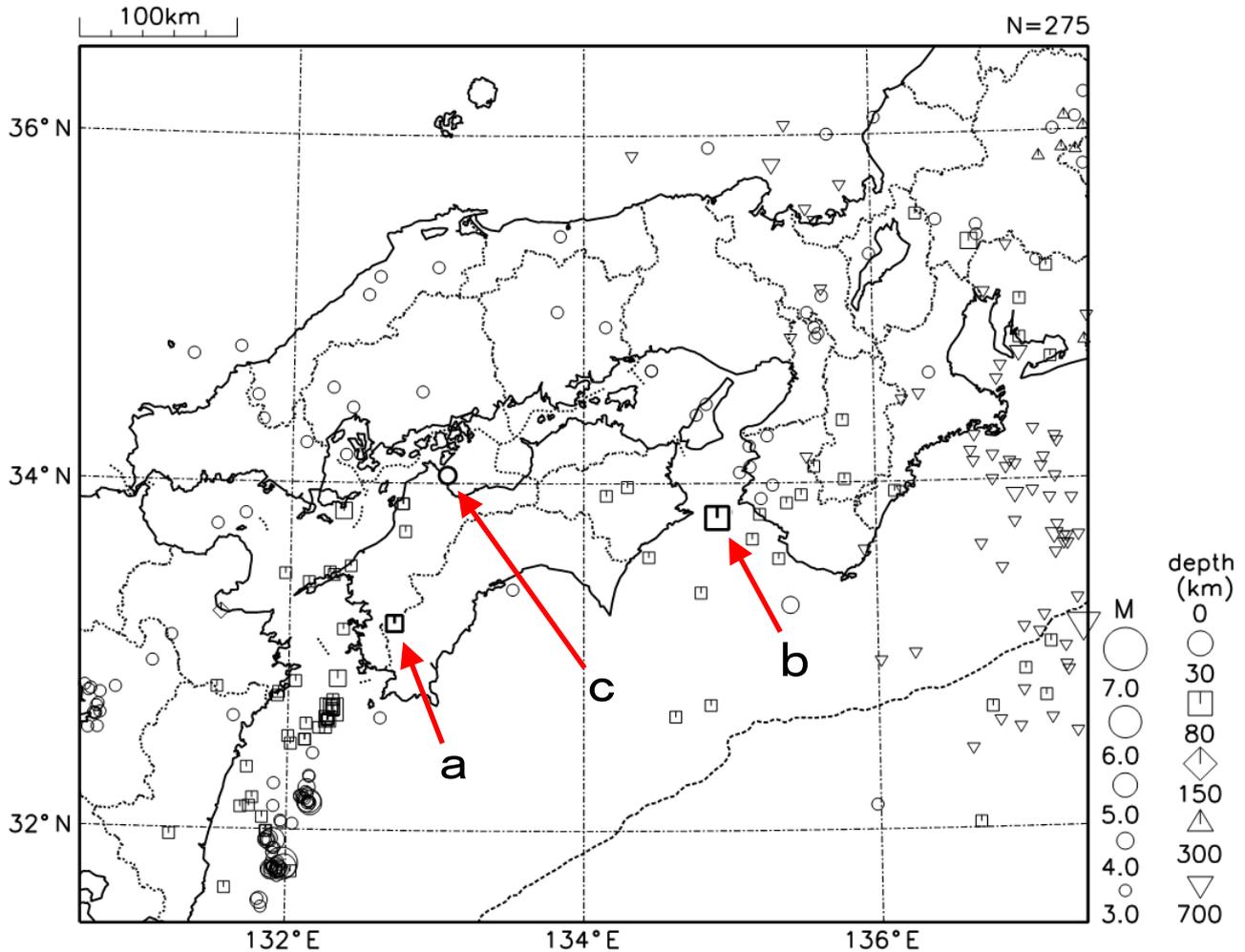


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2019年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

〔概況〕

2019年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は3回（2018年は10回）であった。2019年中の主な活動は次のとおりである。

（5月11日の日向灘の地震（ $M5.0$ 、最大震度4）については、p.116～117を参照）

3月11日15時37分に愛媛県南予の深さ38kmで $M4.6$ の地震（図8中のa）が発生し、愛媛県、高知県、山口県で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

は地殻内で発生した。

3月13日13時48分に紀伊水道の深さ43kmで $M5.3$ の地震（図8中のb）が発生し、和歌山県、徳島県で震度4を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

11月26日15時09分に瀬戸内海中部の深さ16kmで $M4.6$ の地震（図8中のc）が発生し、愛媛県今治市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度3～1を観測した。この地震